

平成16年12月16日

長野県知事
田中康夫様

長野県公共事業評価監視委員会
委員長 野口俊邦

平成16年度長野県公共事業再評価について

平成16年8月5日、当委員会に提出された公共事業14箇所の再評価案の意見については、別紙のとおりです。

意見書

当委員会で審議を行った、県営かんがい排水事業、河川事業、砂防事業、住宅事業、下水道事業、林道事業、道路事業及びダム事業14箇所については、再評価の見直し案のほか、下記事項に留意し今後の事業に反映されたい。

記

1 各事業に対する意見

(1) 県営かんがい排水事業、河川事業について

対象とする地域の宅地化が進行しているため、あらかじめ土地利用のあり方などを関係機関と十分に協議し、農地転用による宅地化の抑制や流域対策などにより、より効率的な事業のあり方を検討されたい。

過去の災害履歴や浸水想定区域に関する情報を、県民に対して周知すると共に、災害予想区域における開発などの抑制を図られたい。

各河川の流域について、特に森林の状況に充分配慮して、関係部局と密接な連絡を取りながら、安全かつ効率的な治水対策を積極的に展開されたい。

(2) 砂防事業について

今回の対象箇所については、事業の進捗上、継続することは止むを得ないが、今後の砂防事業については、少なからず自然環境への影響があった従来の手法の問題点を踏まえると共に、「脱ダム」の理念を共有した新たな手法開発も検討し、次のように取り組みられたい。

砂防えん堤などのハード面の整備のみに頼ることなく、森林整備等による土砂流出の抑制、地すべり等危険区域の設定、警戒避難対策及び危

険区域からの家屋移転などの新たな対策に取り組まれない。

砂防えん堤の堆砂土砂の調節効果、環境への配慮、新たな整備手法などについて、県民にわかりやすい説明に努められたい。

(3) 下水道事業について

下水道計画の見直しにあたっては、災害に対するリスクの分散、農業集落排水事業や合併処理浄化槽など地域の状況にあった公共下水道以外の整備手法を含めた再検討や、大規模工場の立地地域では特免条項を活用するなど計画をより効率的なものとされたい。

下水汚泥の再資源化等有効利用を進めるにあたっては、十分に安全対策を検討して行われたい。

(4) ダム事業について

美和ダム再開発事業の効果を検証し、より効果的、効率的、経済的な計画とするよう、更なる見直しを行われたい。

2 個別事業の意見

(1) 県営かんがい排水事業

安曇野地区（豊科町、穂高町、梓川村、三郷村、堀金村）

県案（見直して継続）のとおり事業を進められたい。

(2) 河川事業 広域基幹 (一) 岡田川（長野市）

県案（見直して継続）のとおり事業を進められたい。

(3) 砂防事業 通常砂防 栃平沢 栃平 (本城村)

県案 (計画変更) のとおり事業を進められたい。

(4) 砂防事業 通常砂防 和見沢川 飯沼 (中川村)

県案 (見直して継続) のとおり事業を進められたい。

(5) 砂防事業 通常砂防 米川 大日向 (飯田市)

県案 (見直して継続) のとおり事業を進められたい。

(6) 砂防事業 通常砂防 金峰山川 阿知端下 (川上村)

県案 (計画変更) のとおり事業を進められたい。

(7) 住宅事業 県営住宅建替 旭ヶ丘団地 (須坂市)

県案のとおりに事業を中止されたい。

(8) 下水道事業 流域下水道 千曲川 (下流)

県案 (計画変更) のとおり事業を進められたい。

(9) 下水道事業 流域下水道 千曲川 (上流)

県案 (計画変更) のとおり事業を進められたい。

(10) 林道事業 大島氏乗線 (喬木村)

県案 (見直して継続) のとおり事業を進められたい。

(11) 道路事業 道路改築 (国) 4 0 6 号 村山橋 (長野市 ~ 須坂市)

県案 (見直して継続) のとおり事業を進められたい。

(12) 河川事業 低地対策河川 (-) 武井田川 (諏訪市)

県案 (見直して継続) のとおり事業を進められたい。

(13) 河川事業 低地対策河川 (-) 鴨池川 (諏訪市)

県案のとおり事業を一時休止とされたい。

(14) ダム事業 松川ダム再開発 (飯田市)

県案 (見直して継続) のとおり事業を進められたい。